

プログラム名	チャレンジラリー		時間	ラリー1～2時間 工作 1～3時間
ねらい	1 触覚、嗅覚、味覚を使って、玄海の家周辺の自然を体感し、自然に親しむ。 2 課題に取り組み、やり抜く意志と課題達成の喜びを味わう。 3 地図をもとに歩く活動を楽しむ。			
活動内容	1 活動形態 → 個人、ペア、グループ 2 内容 → 地図を使って課題が設定してあるポイントまで移動する。課題をやり遂げる度に工作活動の材料を1つずつ手に入れることができる。ラリー終了後、工作活動をする。			
対象	制限なし	活動可能人数	何人でも可	
展 開 例	<h3>1 集 合</h3> <ul style="list-style-type: none"> 指定された場所に集合（入所時に確認） 参加人員と健康状態の把握 <h3>2 事前指導</h3> （「玄海の家」指導員・約10分） <ul style="list-style-type: none"> 活動道具の配布（マップ、マップケース） 説明および諸注意（実施方法、ルール、安全、マナー等） <h3>3 活 動</h3> <ul style="list-style-type: none"> スタート前に、ポイントへ行く順番を決める。 間隔をあけてスタートする。 ポイントで課題を達成する度に、材料を渡す。 ラリー終了予定時刻30分前に「玄海の家」の職員が放送を行う。 ラリー終了後、集合する。 「玄海の家」の職員の指導のあと、手に入れた材料で工作活動に取り組む。 <h3>4 後片付け</h3> （各団体） <ul style="list-style-type: none"> 道具の片付け、ゴミの処理 マップ、マップケースを「玄海の家」事務室へ返却 評価と反省 			
実 施 上 の 留 意 点	1 活動場所について確実に 事前踏査を実施する。（活動範囲を事前に把握する） 2 活動時間や参加者の実態に応じて、ポイントの数や課題の内容を調節する。 3 ラリー終了後、工作活動を「玄海の家」の職員が指導する。 4 他団体とお互いの活動内容を考慮して、ポイントを設定する。 5 用具の貸し出し、返却は職員の点検を受けて確実にを行う。 6 課題3を設定した場合は、事前に「玄海の家」職員の指導のもとテントを設営しておく。			
引率者の役割	巡視・安全係数名（参加者に応じて）			
「玄海の家」で準備できる物	マップ、マップケース、テント			
利用団体で準備する物	帽子、水筒、タオル、雨具、麻ひも、ヒートン（売店で購入可能1個12円）、ボンド どんぐり・貝殻など（必要に応じて）、救急医薬品			